

経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県 糟野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	31.81	100.00	2,910

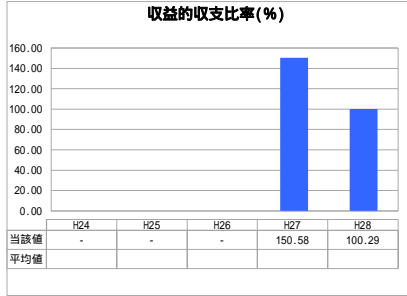
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,020	126.41	213.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,523	6.47	1,317.31

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 平成28年度全国平均

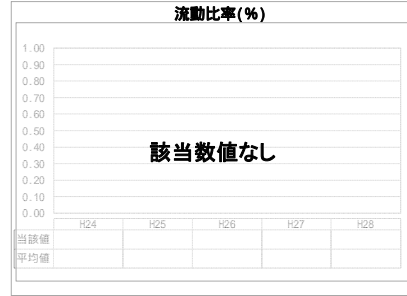
1. 経営の健全性・効率性



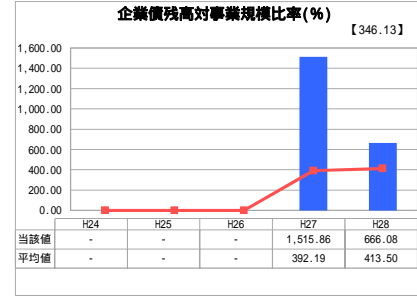
「単年度の収支」



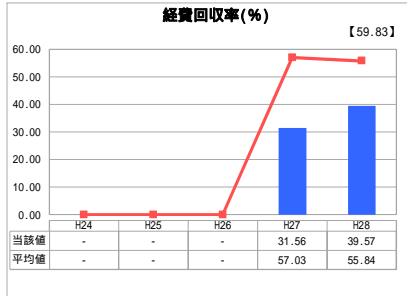
「累積欠損」



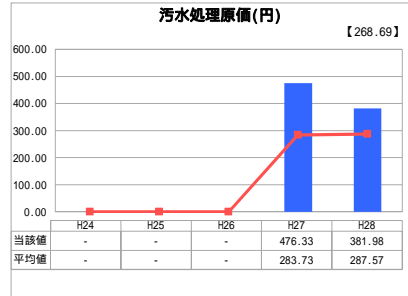
「支払能力」



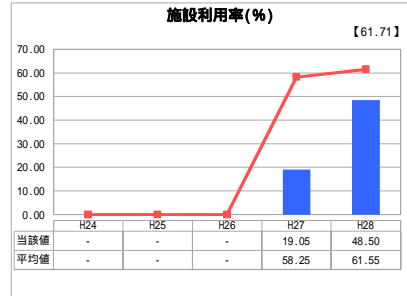
「債務残高」



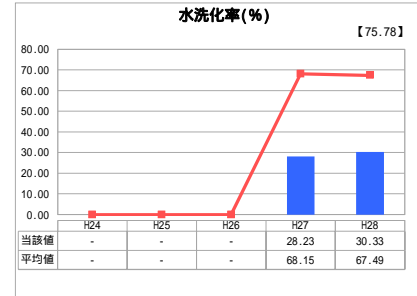
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

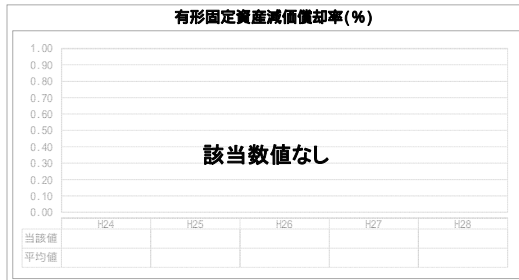


「施設の効率性」

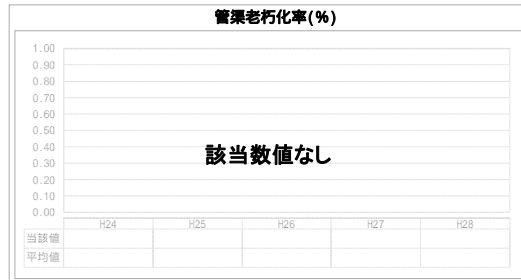


「使用料対象の捕捉」

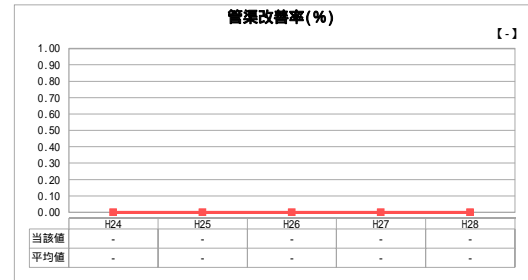
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率
平成27年度からの事業開始であり、平成28年度においても地方債の償還を担っており、元金償還金が発生していないことから若干の赤字を示している。

企業債残高対事業規模比率
事業開始後間もないことから、類似団体に比し高い割合ではあると考えられる。今後整備を進めることにより増加傾向となると考えられるため、加入促進による収入の増加が必要である。

経費回収率
事業開始後間もないことから、類似団体と比較して、低い値を示している。今後事業進展による使用料の増加が見込めるが、設置者の増加に伴い維持管理費用も増加する為、収入と維持管理費の支出に注意することが必要である。

汚水処理原価
事業開始後間もないことから、類似団体と比較して高くなっている。事業進捗に伴う有収水量の増加により、改善が見込まれるが、今後も維持管理費等の見直しを行い汚水処理原価を低くしていく必要がある。

施設利用率
事業開始後間もないことから、類似団体を下回っているが、事業進捗により改善が見込まれる。今後、処理施設の利用状況を考える必要がある。

水洗化率
水洗化率は整備中の事業であるため、平均値と比べると低い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

平成27年度より整備を行っており、管渠等の老朽化はまだ発生していない。

全体総括

事業開始から2年が経過した時点で事業規模が平成27年度と平成28年度で異なる為、前年度比較との数値の差が大きく類似団体と比較して数値が乖離している点が見られる。今後事業が進展していくことで、経営状態が見えてくると思われる。

現在は、他会計からの繰入金が少ないが、今後の社会情勢の変化や財政状況に応じて使用料の改定を検討し、安定した健全経営を目指す。浄化槽や制度の利点を周知しながら、住民の衛生的な生活環境や水環境を守るため、事業を推進する。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。